

秋田県職員互助会公益事業助成事業 助成実績一覧

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
H25	特定非営利活動法人 秋田健康支援情報局	「99人の女子会」	女性の産業や地域活動への参画の拡大	活躍する女性をゲストに迎えトーク&セッションを開催する。午前・午後それぞれ100名が10名ずつの分科会形式で行う。	男女共同参画課
H25	特定非営利活動法人 長信田の森若者就労支援センター	社会不適応予防のためのソーシャルネットワークづくり	思春期・青年期における学校・社会不適応の予防	①職場の体験談等を題目とした講演会及び交流会を年4回実施 ②子育てに不安を抱える家族を対象とした交流会を年5回実施	県民生活課
(H25) H26	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム	日本の宇宙開発大集合！宇宙「ホンモノ」体験！	「ホンモノ」を実際に見る、聞く、触れることで、楽しみながら多くの若者に理工学の面白さを感じてもらい、同時にわくわくする気持ちを体験してもらう	ホンモノ展示(民間宇宙機、秋田県産観測ロケット実機等)、JAXA研究者によるホンモノ講演、ストローロケット教室などのものづくり教室等	学術振興課
H26	Team Show Me	ライブフェスティバル	県民の笑顔とにぎわいを創出し、県内文化の発見・発展・定着	秋田県内在住エンターテナー達によるライブフェスティバル	文化振興課
H24 H25 H26	ソウル便利用促進協議会	ソウル便利用促進助成事業	ソウル便の利用促進と路線の維持	秋田空港発着のソウル便を利用する県民に対し、その渡航費用を対象に一人当たり5,000円を助成する。	観光振興課
H26	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	あきた野生生物ジュニアアレンジークマ調査班2014	「自然と人」のありようなど地域の伝統的なマタギ文化などを含めた多様な価値の獲得を目指す	①あきたの“くま”ぜんぶウォッチング ②夜のクマなま体験！ ③クマのお食事クッキング ④クマの冬眠ウォッチング	県民生活課
H26	特定非営利活動法人 秋田定住移住総合支援センター	AKITA婚ツアー2014	首都圏の助成と秋田の男性との結婚率を上げて、秋田県への移住・定住者の増加を図り、出生率を向上させ、人口増加へつなげる	首都圏在住の助成が秋田県に行き、秋田県の男性と婚活を行う	地域活力創造課
H27	一般社団法人あきた宇宙コンソーシアム	「君もロケットア！モデルロケット工作・打ち上げ体験教室」	幅広い年齢層に対して楽しみながら理工学の面白さを体験し、科学技術リテラシーを高めてもらうこと	小学生低学年対象のロケット打ち上げ体験、小学高学年～高校生対象のロケット工作教室等、高校生以上対象のモデルロケット指導講師ライセンス講習会等	学術振興課
H28	八郎潟町地域振興協議会	「田んぼアート」で八郎潟町活性化事業	地域内交流人口の拡大と地域活性化	田んぼアートを活用したイベント開催	秋田地域振興局
H28	ALARE秋田支部	高校生×若手社会人 intergrowthプロジェクト	高校生が社会人と関わるきっかけをつくることで、人生を主体的に生きる人を増やす。	①高校での授業 ②社会人と高校生との座談会	雄勝地域振興局
H28	(社)秋田白神コミュニケーションセンター	白神の森で「健康寿命を延ばそう」ツアー	県民の健康寿命を延ばす。	県内各地の自然の中でのスローオーキング	山本地域振興局
H29 R3	公益財団法人 秋田県国際交流協会	「やさしい日本語」で誰もが住みやすい地域作り～ダイバーシティ(多様性)の実現をめざして～ あきた多文化共生セミナー～みんなちがってみんないい～誰もが暮らしやすい地域を目指して	「やさしい日本語」講座を通して、外国人のみならず誰もがわかりやすいコミュニケーション方法を学び、多文化共生の推進を図る。 人口減少が進み地域活性化のために外国人の存在が重要になる中、県民や行政職員等に多文化共生社会について理解してもらい、国籍、文化、言語等の違いを認め、尊重し合うことにより自分の力を活かして活躍し、安心して暮らすことのできる地域づくりを目指す。	①講演会「ダイバーシティ(多様性)の実現をめざして」 ②「やさしい日本語」講座 ①異文化理解についてわかりやすく話ができる講師による講演会を開催 ②県内に居住する外国人と「やさしい日本語」で交流し、「やさしい日本語」を身に着ける機会とする。	国際課
H25 H27 H28 H29	特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田	あきたこまちリレーマラソン	健康維持・促進、世代間交流への取組、ボランティアの拡充	複数人で42.195kmを走る「リレーマラソン」大会の開催	スポーツ振興課
H29	特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田	「スポーツ」YUKIYOSE世界大会	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツを活用した地域の活性化	「雪よせ」に競技性を加えたスポーツイベントの実施	スポーツ振興課
H30	アキタエイジラボ	高齢社会における教育をデザインするワークショップ	「SDGs(持続可能な開発目標)及び「ESD(持続可能な開発のための教育)の周知・理解に努めるとともに、これからの社会の担い手となる若者の育成及び活躍の場の拡大を図る。	高齢社会に適応した地域づくりをテーマに、「SDGs(持続可能な開発目標)及び「ESD(持続可能な開発のための教育)について学び合うワークショップ及び勉強会の開催	移住・定住促進課
H28 H30 R1 R2 R3	ハタモク秋田実行委員会	こどものまち「しごとーいあきた」 ※R2は新型コロナウイルスの影響により中止	児童に対してキャリア教育を行うことで、将来的に地域に根ざした人材育成につなげる。	「こどものまち(児童の疑似職業体験イベント)」の開催	次世代・女性活躍支援課 地域づくり推進課
H30	仙北市移住者の会	移住者たちの定住力アップ活動事業	移住者の秋田への愛着心を育むとともに、地元住民から移住者への関心を高めることにより、定住力アップを図る。	地元夏野菜を使った料理教室、長手収穫作業、特産物や観光地等を巡るツアー等のイベント開催	仙北地域振興局
R1	仙北市移住者の会	昔からある秋田郷土の知られざる魅力発信事業	移住者や移住希望者に秋田の魅力や地域独自の日常生活を知ってもらうための映像集や冊子を制作し、本県魅力を発信するとともに、地域の受入体制・定着支援を図る。	移住者の視点から、秋田県内の伝統文化・祭り・郷土料理、地域の習慣・日常生活など秋田の魅力を紹介する動画と冊子の制作	仙北地域振興局
R1	発酵フードラボ	発酵フードラボプログラム	発酵食品を活用したメニュー開発を行いながら、発酵食文化を継承・発展させるとともに、観光資源としてPRする。	湯沢市等県南部ならではの食材や調理方法を取り入れたレシピを学んで食す料理プログラムの開催	雄勝地域振興局

年度	団体名	事業名	事業目的	事業概要	推薦課所
R1 R2	キッズフェス実行委員会	CHERISHキッズフェス ※R2は新型コロナウイルスの影響により中止	親子の交流、情報交換の場となるイベントを開催することで、子育てを社会全体で支える機運を高める。	スポーツやものづくりなどの多彩な催しを親子で楽しむイベントを開催	次世代・女性活躍支援課
R2	特定非営利活動法人 ゆめ希望	「親雪」による健康等の促進事業	健康寿命の促進、子育て世帯への支援、雪と親しむ機会の創出	○スキー用品等譲渡会の開催(2日間/1回) ○クロスカントリー体験、運動等の指導(冬季シーズン) ○クロスカントリースキー大会の開催(2回)	平鹿地域振興局
R2	秋田県地域おこし協力隊ネットワーク	地域おこし協力隊と地域の関係づくり事業	協力隊員と地域住民が互いに支え合う関係を構築するための知見を調査・研究し、とりまとめた情報を地域住民や隊員、自治体に広く情報発信することで関係者相互の理解を深め、よりよい関係性を築き上げたいとする。	○協力隊と地域が支え合う関係性を構築するための調査・研究 ○調査結果をまとめた冊子製作 1,000部 ○成果報告会の開催	移住・定住促進課
R3	佐藤勤六商店	サンゾー(3造(いちじく・地域・人))プロジェクト	いちじくの栽培管理の共同作業を通じ、若者の県内定着・帰郷、移住の創出と、いちじくを中心とした地域づくりを担う人材の育成・発掘による地域の維持・活性化を目的とする。「観光以上就農未満」という新しい取組による、就農や定住の枠に止まらない新たな農業関係人口の創出を図る	①いちじくの栽培管理を気軽に開かれる地域活動として県内外から参加者を募集し、交流人口を拡大する ②観光企画との違いを明確にするため、複数回の作業参加を条件とし、「一時的に必要な労働力として生産者から応援依頼できる仕組み」を確立する。 ③生産者と参加者が食事を共にしたり、にかほ市の名所案内をするなど、農業作業以外の交流活動も実施し、相互理解とコミュニケーションを促進する。	由利地域振興局
R3	湯沢雄勝観光シェアリングネットワーク	ゆざわ観光ガイド魅力アップ事業	観光ガイドの認知度向上と観光客の満足度を高めるとともに、インバウンド時代の多言語案内などのガイド力をブラッシュアップすることで、湯沢地域の魅力の発信や観光客の増進につなげる。	①湯沢地域の観光ガイドのモデルコースを巡るツアーをクイズなどの企画と連携し、観光ガイド付きのまち歩きを発信する。 ②外国人観光客への観光案内に興味がある方や、外国語でのコミュニケーション力を上げたい方を対象に開催し、湯沢の地域活性化を図る。	雄勝地域振興局
R4	次世代型健康経営推進ネットワークNEO	次世代型健康経営推進プロジェクト	「次世代型健康経営」を推進するためのネットワークを構築し、様々な業種の人材を派遣することで秋田県民の健康寿命の延伸と企業における「自己実現可能な環境の整備」を図る。 「社会的にも良好な状態」であることを意味する「ウェルビーイング」を実現し、秋田県民が生きがいや豊かさを実感しながら暮らせる健康長寿社会を実現する。 ・元気に活躍できる職場環境を整えることで「優秀な人材の確保」「離職者の減少」「ワークライフバランスの充実」「女性が働きやすい職場環境の整備」「社員のモチベーションの向上」「定住の促進」などを実現する。	「職場の選択は生き方の選択！～コロナとカラダの健康習慣×職場環境を整えて秋田で人生を楽しもう！～」をテーマに同業種や異業種と連携した新しい形の「次世代型健康経営推進ネットワークNEO」を構築し、それぞれの企業等に合った健康経営プランの提案や様々な業種の専門家の講師派遣を実施する。	雄勝地域振興局
R4	特定非営利活動法人白瀬南極探検100周年記念会	白瀬南極探検110周年秋田南極サミット「南極へ行こう」	白瀬南極探検隊が南緯90度を超える快挙を成し遂げてから本年は110周年になるとともに、白瀬の南極探検が礎となった南極観測も60年が経過したこの時期に、南極観測事業に従事した関係者が一同に会し、白瀬のチャレンジ精神、南極のロマン、秋田スピリットを紹介し自信を持って目標(夢)へ向かって前進する縁にして秋田を元気にする一助とする。	①基調講演「南極観測60年の歩み」 ◆国立極地研究所所長 中村卓司(予定) ◆「白瀬中尉の夢に挑戦して」冒険家 阿部雅龍(予定) ②シンポジウム「南極に行こう」 元南極観測隊員5名 ・コーディネーター 秋田魁新報社デジタル部長 安藤伸一(予定) ③展示会「南極自慢我が会社」東光鉄工株式会社(予定)株式会社三栄機械(予定) 東北ミサワホーム株式会社(予定)	由利地域振興局
R4	大仙民話の会	「地元の民話を語り継ぐ」	生活から密接に生まれ、長年にわたり脈々と語り継がれてきた独自文化である「地域の民話」を後世に継承し、この活動を全県に波及できるモデルケースを作ることが目的であり、これにより、語り部の高齢化やコロナ禍における活動停滞で危ぶまれている活動継続への気運向上とする。	①「地元の民話集」の制作 大仙市内を中心とした学校(小・中・高)、図書館、公共施設、観光拠点、県内民話活動団体関係者等への配布 ②「地元の民話継承」口演会の開催 ・民話や郷土芸能を聞いて触れられる口演会 ・民話継承活動功労者の表彰 ・講演「堀井徳五郎翁に憑かれて」 講師 来栖 史江 氏	仙北地域振興局
R4	一般社団法人 市民活動あきた	市民活動あきた「せんぼく ふるさと検定」	古くから仙北市を紡いできた自然環境、歴史や文化、またその遺産や諸行事、さらに産業の現状課題等に関する出題とし、それへの学びと解答を通して、地域社会の理解を深めるとともに、地域社会の継承や発展に向けた意欲をもつ人材を育てる一助とする。児童・生徒受検者には未来を担う人材としての意識醸成に、一般市民や県民の受検者には豊かな生活の向上意欲の醸成につながるものととらえている。	①ふるさと検定 配点は各都とも、事実の知識解答を80点、体験に基づく意見や考えを問う記述解答を20点、計100点とし、検定結果は合否判定によらず得点表示とそれを賞揚する。記述解答の元となる体験については、一般の部は市内散策と講話、児童・生徒部はお話を充てる。また、問題作成会による作問とし、作問根拠は仙北市及び観光協会ホームページ等で公表されている事項とする。 ②「検定報告集」発行 記述解答と体験活動の様子をまとめて県民に周知。HPでも発信。	仙北地域振興局

【注】ソウル便利利用促進協議会、特定非営利活動法人 トップスポーツコンソーシアム秋田、ハタモク秋田実行委員会が行う事業は、令和5年度の助成対象となりません。